

# 気宇壮大(学校だより)

第23号 平成20年6月20日

去る6月14日(土)、今年度第1回学校協力者会議を開催しました。今回は、第1回の会議ということで、委員長、部会長の互選を行い、学校経営計画等の説明、それに対する質疑応答を行い、ご意見をいただきました。

## 【平成20年度学校協力者会議委員】

- 「評価部会」 湯浅 正恵 (広島市立大学教授)【部会長】  
 吉村 和彦 (元沼田高等学校長)【委員長】  
 湊 朗 (沼田公民館長)  
 森本 博知 (前沼田高等学校PTA会長)  
 【副委員長】
- 「提言部会」 三宅 勝次 (広島経済大学教授)【部会長】  
 財津 伸子 (広島市立伴中学校長)  
 原田 照美 (伴地区町内会連合会長)  
 奥田 正治 (伴学区体育協会会長)  
 松浦 圭二 (沼田高等学校PTA会長)  
 倉本 清美 (沼田高等学校PTA副会長)



## 【ご質問とご意見】(抄)

学校の危機管理という点において、耐震強度の点検は行われているのか。特に沼田高校は己斐・五日市断層に挟まれており、影響はどちらからもあるので注意が必要だと思う。  
 [点検・調査はしていないが、本校は建築基準法が強化されてから建築されており、耐震強度も大丈夫だと思っている。市教委には確認をしたい。]  
 その後の確認で、現在問題になっている学校の耐震強度の点検及び耐震補強工事の対象は、昭和57年以前の建物で、沼田高校は対象ではないとの市教委からの回答がありました。  
 9/11(木)市立大学において、広島市の防災訓練が行われるが、今年から地元の伴地区町内会も参加するので、時間の空いている教職員も是非参加してほしい。  
 [当日、本校の体育祭の予行演習が行われる日なので、厳しいかもしれないが、校長が参加することも考えたい。]  
 9/23(火)は伴地区の一斉清掃が行われるので、沼田高校の生徒にも参加してほしい。  
 [(それまでは体育祭と日程が重なってなかなか参加できなかったが)一昨年より、参加しており、今年も参加態勢を整えたい。]  
 学校経営計画の中で、地域清掃活動への成果指標がわかりにくい。地域清掃に参加した生徒数を具体的な数値目標にしてはどうか。  
 [「定期的な」というのは、かなり参加頻度も多く、自主的・日常的にという意味だが、表現について再検討の必要があるかもしれない。]  
 進路指導について、説明の中で、「推薦入試に流されない」という指導方針があるとのことだが、それはどのような意味があるのか。また、具体的にはどのように取り組むのか。  
 [「(早く進路を決定したいと焦って)安易に推薦入試に流れること」を防ぎたいという意味である。昨年度も、AO入試や推薦入試で、2学期後半にはクラスの半数以上が進路決定してお

り、授業への集中力や態度が問題になるという事態が起きた。進路先での後悔など、安易な進路決定がもたらす弊害も多い。これまでフロンティアクラスを中心に進路学習や学力向上プロジェクトなどを進めているが、進路希望調査を見ても、高い目標や志をもって頑張っている生徒も徐々に増えつつあり、一定の成果は出始めているのではないかと考えている。]  
 推薦入試を希望する生徒が増加する原因に、「不安感」というものもあるのではないか。その不安を軽減するための取組みはどうすべきか。  
 [きめ細かな進路指導を行い、それぞれが目標を高くもち、みんなで支え合って最後まで頑張れるクラスを育てていきたい。]  
 中四国地方の私立大学では定員割れが起こる大学も増えており、推薦で学生を確保することが必要となっている。学校としての方針もあるが、やはり推薦で合格した生徒のアフターケアも大事である。最近では自己管理できない子が増えており、推薦で合格しても、大学に入ってから苦勞する子が多い。  
 [推薦合格後、大学からレポートや課題を示されることもあるが、やはり、高大連携を深めてしっかりとしたサポートが必要である。合格後も次の段階へのモチベーションを高く持って高校生活を送れるよう指導を強化したい。]  
 \*その他、当日、所用で会議に参加されなかった委員さんからも、地域の中学校との連携を密にしてほしいとの要望もありました。今後、9月26日(金)に提言部会、10月29日(水)評価部会、2月25日(水)に学校協力者会議(全体)を開催し、本校学校経営への提言・評価をいただく予定です。

## 沼高折々の記

### 6月13日(金)・14日(土)「文化祭」開催

「Sparkle!～好きじゃけえ沼田～」をテーマに第23回文化祭が、盛会のうちに終了しました。文化系クラブの力作や熱演に触れ、全校生徒が本校の「文化の香り」馥郁としたところをたっぷり味わいました。各クラスの催しや発表も、いろいろな事情を乗り越えて、それぞれが存在感を示していました。最終日には、本校生徒や来校者の「願い」を風船に載せて放つ企画もあり、大いに盛り上がりました。残念ながら、当日試合(中国大会)などもあり、本校生徒全員が揃って文化祭に参加できた訳ではありませんが、それぞれが自分の役割を責任を持って果たしてくれたように思います。準備から、当日の発表・展示や運営まで、先生方もそれぞれの部所でしっかりと生徒を支えて下さいました。色とりどりの風船が舞い上がった空に、爽やかな達成感を感じたのは、私だけではなかったように思います。



### 羽ばたけ全国へ、世界へ!

第61回広島県高等学校総合体育大会が終了し、本校から体操部(女子団体・男子個人)、剣道部(男女個人)のインターハイ出場が決定しました。さらに陸上部は中国大会、水泳部はこれから県大会や中国大会を経て、インターハイ出場が決定します。今年も「市立沼田」が全国に羽ばたきます。また、先日東京で開催されたジャパンカップに出場した水泳部の中岡さん(3年)が、6月末からメキシコモンテレーで開催される「2008FINAジュニア世界選手権水泳競技大会」(200m個人メドレー)に、日本代表として出場することが決定しました。本校生徒が、世界という舞台に大きく羽ばたきます。ともにご声援よろしくお願いたします。